



長野市5年 駒木希美記者



【講師の増田さんより】

とりたい相手をよく見て、いいしゅん間をねらうのが「シャッターチャンス」です。みんな自分が思う動物を選び、いいしゅん間をとらえてくれました！

増田さんのこの日の装備

リュックの重さ12~13kg。カメラ1台、レンズ5本(望遠とズーム、マクロなど)、サブカメラなど



上田市6年 小倉穂記者



松本市6年 永田佳奈子記者

よし、とびこおぞ！



フンボルトペンギンが水中にとびこもうとしています。えさは魚です。今日のえさはアジでした。魚の大きさは10~15センチだそうです。それ以上大きいと、口に入らないからです。「よし、とびこおぞ」と言っているように、水の中へとびこんでいきました。

だっそうするほど、うんどうのう力が高いので、しゃしんをとるのがおぼつかしかったです。



松本市3年 永田陽菜子記者



信毎こども新聞編集部が入った！

新読者センター

「信毎こども新聞」の編集部が4月30日から、「読者センター」に移りました。読者センターは2005年4月に誕生し、ことして10歳になりました。信濃毎日新聞長野本社(長野市南県町)での見学案内や、小学校・中学校などでの出前授業を行っています。長野本社で案内をしたり、出前授業で先生をしたりしたのが読者センターのメンバーです。

でも、多くの人にはあまりなじみがないかもしれません。信毎こども新聞編集部が加わった、新しい「読者センター」を紹介します。



穂光一センター長が紹介

読者センターは、大きく分けて次の5つの仕事をしています。

- ①信毎こども新聞を作り、こども取材教室とこどもスクールを開く
- ②信濃毎日新聞長野本社で見学の案内をする
- ③小学校や中学校などでの出前授業を行う
- ④県内の先生が行う新聞を使った授業の手伝いをする
- ⑤県内のさまざまな場所で、地域が盛り上がる催しを開く

このうち、「信毎こども新聞を作り、こども取材教室とこどもスクールを開く」は、信濃毎日新聞に載っている「信毎こども新聞」やこの「信毎こども記者ニュース」で知っていると思います。そのほかの、みなさんと関係が深い読者センターの仕事を紹介します。

信濃毎日新聞長野本社で見学の案内

信濃毎日新聞長野本社には、「長野見学」などで長野市を訪れた小学生らが多く訪れています。その案内をしているのが、読者センターのメンバーです。

見学していただくのは、信濃毎日新聞を編集している「編集局」、信濃毎日新聞の作られ方や昔の新聞などを並べた「展示コーナー」です。編集局では、長野県内や日本国内、世界のニュースを、読者に「分かりやすく、正しく、詳しく」伝えている様子を見ることができます。

小学校での出前授業

小学4年生の国語の教科書に「新聞作り」、5年生の社会科の教科書に「情報」が載っています。それに合わせて、新聞の作り方や、新聞の役割を説明する出前授業を行っています。

新聞は記事(文章)でニュースを伝えています。みなさんは文章を書くのが得意ですか?新聞作りの出前授業では、社会科見学や運動会、修学旅行などをテーマに、一人一人新聞を作ってもらいます。文章を書くのが苦手な人もスラスラと記事が書けるようにアドバイスしています。そのため、出前授業を受けた小学生は「新聞作りは楽しい」と話してくれます。

新聞を使った授業の参観

小学校の授業は、教科書で行っています。でも、学校での勉強は、教科書の内容を覚えるのが目的でなく、みなさんが世の中で生きていくのに必要なことを覚えたり、身に付けたりすることを目指しています。

そのために、新聞記事で世の中の動きを知り、教科書の内容と結び付けながら授業を行う先生が増えていきます。新聞を使った授業を参観して、毎週日曜日の信濃毎日新聞で紹介しています。

信濃毎日新聞本社を見学する  
南箕輪村南部小学校の子どもたち  
29日

